

Vol. 76

令和5年2月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら

ゆりはま 議会だより

- 2 出産・子育て支援金10万円
- 4 温泉むすめ観光大使就任
- 6 園での白ごはん提供困難
- 8 一般質問

「議会ってどんなどころ」

(羽合小学校2年生)

関連記事は15ページ

12月
定例会

出産・子育て応援に 10万円を支給

令和4年12月定例会は、12月9日から21日まで開催されました。
今定例会に提案された令和4年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された19議案すべて、原案のとおり可決及び同意しました。

補正予算

中学校跡地、北栄町持ち分3分の1を取得へ

・財産管理臨時経費

1億3300万円

北栄町と令和3年6月に締結した覚書に基づき、用地売却金を算定。本町が取得することで、跡地の一部にたじりこども園を新設移転。今後、さらに有効活用が図れ、一体的発展が期待できる。
(関連記事は14ページ)

令和4年4月以降の出生に10万円支給

☆出産・子育て応援交付金事業

2519万円

安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出

産・子育てまで一貫した伴走型支援（妊娠時など3回の面談によりおこなう支援）と経済的支援（妊娠届出時5万円・出生届出時5万円の現金支給）を一体として実施する。

羽合小学校教室不足解消へ

・羽合小学校管理運営臨時経費

1507万円

来年度、羽合小学校に特別支援学級（弱視学級）を新設するにあたり、備品を購入することで、学びの環境を整備する。弱視の方が無理な姿勢をとらずに活字が見えやすくなるよう書見台を購入する。
また、令和6年度以降に教室不足が生じるため、増築工事が必要。現在実施中の基本設計は令和5年2月頃に

マイナンバー申請窓口の充実

・マイナンバーカード事務

136万円

急増しているマイナンバーカードの申請及び交付事務を円滑に行うため、役場窓口における補助員の配置及びオンライン申請用タブレット増設など事務に必要な物品の購入を行う。

若者・子育て世代の定住を促進

・若者夫婦・子育て世代住宅支援事業

723万円

夫婦のいずれかが35歳以下または中学生以下の子ども2人以上を養育する世帯が、住宅を新築または購入するための経費を補助するもの。
交付件数の見込み増加に伴い、増額補正する。



マイナンバーカードに関する手続きを窓口で支援（町民課）

完了。その後、実施設計に着手するための増額補正。

エデュマイク購入

・東郷小学校管理運営臨時経費

11万円

来年度、東郷小学校に特別支援学級（難聴学級）を新設するにあたり、補聴器に直接音声を届けるエデュマイクを購入する。先生の胸元に取り付け、補聴器をつけた児童に先生の声をダイレクトに届けることができる。

水道基本料金を無料に

令和5年1月請求分から3カ月分の水道基本料金を無料にし、地域経済の低迷や原油・物価高騰の負担を軽減するもの。財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2160万円。

地元管理の水道や井戸水などを使用している世帯は、申請すれば基本料金相当額が給付される。

条例

町職員定年を段階的に引き上げ

・湯梨浜町職員の定年の引き上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例

国家公務員の定年が65歳になることを踏まえ、町職員の定年も同様に段階的に引き上げる。
また、管理職の職員が所定の年齢に達したときに、



書見台で弱視児の学習を支援

障がい福祉サービスの相談強化

・コーデイネート機能強化事業

210万円

障がい児に対する福祉サービスを利用できるよう、相談支援専門員を増員するための補助を行う。
相談支援専門員の新規または追加設置を行った2つの事業者に対し、それぞれ100万円を上限に初期経費の人件費を助成する。

役職を離れる役職定年制を導入し、組織の若返りも図る。

町職員の高齢者部分休業制度の導入

・湯梨浜町職員の高齢者部分休業に関する条例

55歳に達した職員は、申請し業務に支障がないと認められたら、勤務時間の半分を超えない範囲で休業できる。休業した時間は無給。自身の体調などの諸事情やボランティア活動など地域貢献を想定した制度。

人事案件

教育長の人事案件に同意した。
◇教育長（敬称略）

山田 直樹（園）

任期は、令和4年12月25日から令和7年12月24日まで。

温泉むすめ「はわい東郷浮乃」が観光大使に就任

☆本町の温泉地をモチーフとして誕生した「はわい東郷浮乃」のキャラクターが観光大使に就任。湯梨浜町の温泉の魅力発信やグッズ販売を通じた活性化推進が期待される。



観光大使に就任したはわい東郷浮乃

問 個々の旅館などが作成するキャラクターへの補助はあるのか。

答 観光大使として任命したが、個々の事業者への支援は考えていない。

問 任命して終わりではなく、個々の事業者との連携が重要との認識を共有させるには。

答 温泉地で活躍しているキャラクターは全国で125ある。水明荘では年代層に関係なく注目した。ただ、梨娘バーションを提案した。それらの連携も考えたい。連携方法として、キャラクターの誕生日イベントや声優、絵師との対話などの工夫が必要。

ジャンボタニシ対策は状況に応じ実施

☆ジャンボタニシ対策として現在は秋耕うんを推進。これまでの実証事業で水口ネットや圃場均平、浅水管理、環境にやさしい薬剤の

散布を行っており、今後は状況に応じ対策を実施していく。

問 薬剤散布はどのようなときに行うのか。

答 実証事業では秋耕うんと薬剤散布の効果は同程度であったため、秋耕うんを推進していく。薬剤散布は状況に応じて検討する。

問 耕作放棄地のジャンボタニシ対策はどうするのか。

答 農業再生協議会と連携しながら検討していく。

問 ジャンボタニシの県内や全国的な状況は。

答 県下においても全国的にもジャンボタニシ発生が拡大している。本町では環境にやさしい方法で対処していく。

新電力会社への町の参画は

☆鳥取中部地域新電力会社の事業について、現時点では本町は参画しない。今後は、事業の動向を注視して取り組みを検討していく方針。

問 北栄町、琴浦町、倉吉市は参画するが、後追いで参画が可能か。

答 現時点では参画しない。今後にも中途参画も可能。

問 町として脱炭素への具体的な方針が必要では。

答 町内の脱炭素を進める事業者には支援を検討していく。

問 県のPPA事業（屋根貸事業）との関連は。

答 地域から生まれる電力を循環させる事業には補助金制度の創設を検討。

問 4年間滞納している人は、給水停止をしなかったのか。

答 給水停止を行いつつ、分納により少しずつ支払われた。

問 誰が債権放棄を決定しているのか。

答 年に2度、町民課を中心に滞納対策整理本部で検討。町税等の情報も判断材料としている。

県営土地改良事業について

☆福永区の谷奥ため池の想定被害防止のため、令和6年度までに9千300万円を改修。

問 町内の他のため池はどうなっているのか。

答 町内に8箇所のため池があるが、調査の結果、大規模改修の必要はない。

松崎地区内水対策事業の進捗は

☆龍島ポンプ場は完成。新町川ポンプ場の完成予定は令和8年度出水期まで。

問 県の水門工事の大幅な修正設計とは。

答 建設場所や仕様の変更で、それに伴う大幅な修正設計になった。

問 出水期に工事を行うのか。

答 基本的には出水期の工事は控える。できる限り全体の工期が縮められるよう働きかけていく。

どうなる二十世紀梨のG1登録

☆地理的表示保護（G1）制度は、地域特産物を登録することにより、高付加価値とブランド化を促進するもの。課題は、市場で目にする機会が限定的となる点。今後は「東郷二十世紀梨」から「鳥取二十世紀梨」への登録申請に変更する。

問 これまでは「東郷」という名前を前面に出してきたが今後はどうなるのか。

答 販売戦略はこれまでと同様。ただし、実際の登録は「鳥取二十世紀梨」ということで全農とつとりは推進。

問 やはり「東郷」という名を使ってほしいが。

答 海外に輸出するときのブランド保護を目的として、全農とつとりは「鳥取二十世紀梨」で進める。

水道料金、回収不能により放棄

☆水道料金の未収金は8件。すべてが個人で、放棄する金額は9万1077円。そのうち1件が相続放棄によるもので、他は住所が不明で追跡不能になったもの。

問 放棄理由としての転出先職権削除の意味は。

答 追跡調査が不能になり、住民票を削除すること。

白ごはんの提供は困難

☆昨年から調査していることも園の白ごはん提供について、町から報告があった。白ごはんを提供するのであれば、園児一人につき、月額1500円の追加徴収が妥当な費用だと町は判断。しかし、現段階では行わないことを明らかにした。

問 現在、白ごはんを食べている3歳未満児も料金金は上がるのか。

答 3歳未満児はすでに保育料の中で提供しているのだから。しかし、3歳以上児は、園から提供すれば給食費が上がることになる。



コロナ対策をしながらの給食 (たじりこども園)

問 現状での白ごはん提供の可能性は。

答 園からの聞き取りによれば、給食はコロナの影響で、時間をかけて対応している。コロナ禍が収まれば余力は出ると思うが、現状では難しい。

問 コロナが落ち着いたら、職員の確保ができれば白ごはんの提供をしてもいいと考えているのか。

答 コロナが落ち着き、また、保育士の確保ができれば定員いっぱい受け入れも可能であり、白ごはんの提供もできると思う。

墓地が災害にあった場合、復旧費の助成は

☆助成するにあたり、町内墓地の管理支援要綱を今年度内に決定したい。

問 町所有地以外の助成区

答 町有地、財産区有地、区有地の区分に該当した場合、助成する。

問 支援対象となる要件は。

答 大雨、風水害、地震等で県の基準及び条例に該当する場合。その他町長が必要と認めた場合。

問 支援助成金額は。

答 対象工事が20万円以上のもので対して3分の2を町が助成する。ただし、限度額は100万円とする。

げんき館で健康づくり

☆町民が適度な運動を習慣づけるきっかけとして、トレーニング器具を活用。運動、スポーツに参加することにより、生活習慣病の克服と健康寿命の延伸を目指す。

問 運動指導員として地域おこし協力隊が確保できなかったが今後どうするのか。

答 近隣に運動に興味のある方がいるので、個別に声をかけて交渉を行っている。

問 現在どのような利用状況か。

答 1日平均13、6人の利用があり、げんきクラブの会員は66名となっている。

敬老会の実施方法を検討



町主催の敬老会で長寿を祝う

☆令和4年度の敬老会は、新型コロナウイルス感染症のため、敬老会の規模を縮小し、ハワイアロハホールで88名の方に参加いただき開催した。令和5年度は、これまでどおり町主催で開催する予定だが、令和6年度以降について見直しを考えている。

問 なぜ実施方法の見直しが必要なのか。

答 中部地区で敬老会を町主催で行っているのは湯梨浜町だけである。他の町では、地区での実施に補助金を出したり、記念品を出すのみで行われている。

今、地域間のつながりが希薄していることが一番心配されている。地域のつながりを大切にする方向にもっていくことも考えていく必要がある。

問 令和3年度に75歳以上の方に実施したアンケートの結果は。

答 今までどおり町主催での実施が半数。残りは、各区での実施や対象者に限定での実施に分かれた。

問 いつ頃をめどに検討をしていくのか。

答 12月に敬老会についてどう考えておられるのか各区にアンケートを実施し、各区の意見を集約する予定。令和6年度以降についてはアンケート結果をもとに実施方法の見直しを検討したい。

問 指導、内容等について事前に教育委員会に連絡があったのか。

答 警察から教育委員会、学校への連絡はなく、いきなりのことだった。今後は事前に連絡がほしいと要望した。

問 指導内容は。

答 全国で歩行者と自転車の事故が多発しており、その一環で行われた。特に、歩道を並進していた生徒が指導を受けた。

問 道路幅が狭かったり、歩道設置が困難な場所もあり、厳格な指導に疑問があるが。

答 道路設置者と警察で実態事情にあわせた指導方法を協議したい。

警察が自転車指導

☆倉吉警察署が羽合小学校付近の歩道を自転車で行った中学生に対して指導を行った。歩道では自転車走行は原則禁止されているが、指導された中学生のなかには、指導カード等を渡され動揺した生徒もいた。



トレーニングに励む町民 (げんき館)

健康増進気運の醸成策は

町長 引き続き向上に向けて努力



まつおか あきひろ
松岡 昭博

【問】特定健診（健診）・特定保健指導（保健指導）は、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病の予防・改善につなげるものである。

①健診、保健指導は開始以来15年近く経過したが、その成果をどのように考えているのか。

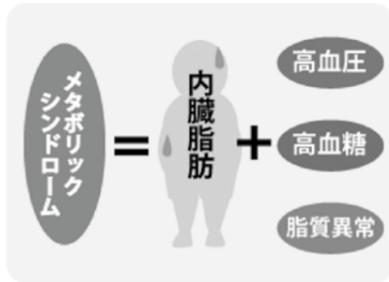
②市民の健康増進気運を醸成するため、推進月間を設け、推進体制の強化を図るとともに、健診の自己負担額を無料化してはどうか。

③本町含め4自治体との連携事業の成果はどうか。

【町長】①町の計画に定める目標値には達していないのが現状である。受診推奨の強化、医療機関連携を通じた受診勧奨アプローチの強化を行っている。引き続き向上に向けて努力したい。

②毎年「健康増進普及月間」を定め、温泉ウォーク教室等の実践活動は行っている。無料化していないが、自己負担については70歳未満を500円引き下げた。それが受診行動に繋がるかは単年度で判断できない。

③医療費抑制効果もあり、要介護リスクも極めて低くなる等の成果が出ている。



メタボリックシンドロームの症状

一般質問 町政を問う

12月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

| 質問者 | 質問事項 | ページ |
|-------|---|-----|
| 中森圭二郎 | 若者の社会参画の具体的な仕組みは | 8 |
| 松岡 昭博 | 健康増進気運の醸成策は 速やかに特定空き家の代執行を | 9 |
| 信原 和裕 | 特定健診と介護予防の一体的な事業実施を 長引く物価高騰・収入減へ町独自の生活・産業支援を | 10 |
| 米田 強美 | 健康寿命を延ばすには 安定的な上下水道事業を | 11 |
| 光井 哲治 | 使用済みおもむつのこども園での廃棄を 死亡届提出後の手続きを「ワンストップ」で | 12 |
| 増井 久美 | インボイス制度への対応は 旧統一教会に対する相談窓口設置を | 13 |

若者の社会参画の具体的な仕組みは

町長 ゆりはま若者会議(仮称)を立ち上げ



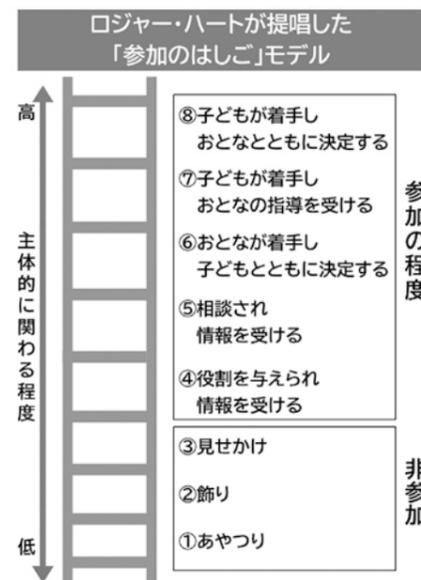
なかもり けいじろう
中森 圭二郎

【問】①鳥取市では若者の社会参画の方法として「とっとり若者地方創生会議」を行っている。若者が若者の定住やにぎわいつくりの調査研究をしているという。湯梨浜町では、どのように若者の社会参画の機会を作っていくのか。

②愛知県新城市では、条例を制定して若者の自主的な活動に対しての支援を基本理念としている。湯梨浜町も若者の意見表明権などを根拠づける条例の制定を検討してはどうか。

【町長】①若者が継続してまちづくりに参画する、新たな仕組み「ゆりはま若者会議(仮称)」を立ち上げ、町の課題や対策、魅力創出などの政策提言をいただきたい。まずは、アンケートで関心度や意見を聞きながら迅速に推進していきたい。

②条例の制定で、諮問事項を調査、審議というよりも、柔軟な感じに進め、若い方の意見を反映した魅力あるまちづくりを構築していきたい。



若者に役割を与えることで社会参画が実現

速やかに特定空き家の代執行を

町長

弁護士にも相談し、本格的に推進

【問】本町においては今年2月末現在、危険度の高い特定空き家が82件ある。

①特定空き家のうち、所有者不明、財産放棄、送り戻し、無回答などの70件について、今後どのように対応するのか。

②特定空き家等の代執行をすれば、町負担となる可能性はある。しかし、早期解消、市民の生命、身体保護、生活環境の保全などの観点から、速やかに代執行すべきではないのか。

【町長】①特定空き家は、今までに6件除去・改修されたが、新たな指件数を含め、現在83件となっている。当初の調査では70件が無回答であったが、再度の調査で45件の回答があった。残り25件については調査を進めている。

②所有者不明や財産放棄の空き家を除去するには、略式代執行しかない。案件ごとに台帳を作成し、指導、勧告、命令に向かっていけるよう体制を作り直し、本格的に進めたい。



荒廃が進んでいる空き家

健康寿命を延ばすには

町長 取組みをより充実させる



よね だ つよ み
米田 強美



元気に参加、楽しく交流
(毎週行われている、とねりサロン)

【問】①新型コロナウイルス感染症により、外出自粛などの影響で、高齢者のフレイルの進行が懸念されるが、現状と対策について問う。

②大分県では2016年から「健康寿命日本一」を目標として取組み、大きく躍進。その要因として、雑談や運動を楽しむ「集いの場」がある。我が町ではサロン活動があるが、推進状況を問う。

③対面を中心とした事業に参加できない人に対して、ITの活用について問う。

【町長】①コロナの影響は要介護認定率の上昇や介護保険給付費の増加にも表れている。要介護者の方には適度の運動と社会参加を呼びかけてきたが、コロナ禍の中、充分な取組みができなかった。

②健康寿命の延伸をさまざまな取組みで推進してきた。「ゆりりんメイ」も1000人養成した。サロン活動は効果も上げていたので、より充実した取組みをしていきたい。

③県作成「とっとり式認知症予防プログラム」の映像を湯梨浜パージョンとしてTCCで流せないか研究したい。



のぶはら かずひろ
信原 和裕

特定健診と介護予防の 一体的な事業実施を

町長 住み慣れたところで生活していけるまちづくりを目指す



歯の検診で老化予防、認知症予防を

【問】町民の高齢化と有病率が高まるなか、特定健診の充実と介護予防の一体的な取組みは、住み慣れた地域での老後生活の継続と大幅な町財政の軽減になる。

①特定健診や保健指導等の受診率、実施率向上のための費用負担や奨励方法等は。

②近年、歯周病、虫歯が成人病や認知症発症・悪化の重大要因と言われている。歯科検診受診率向上の手立ては。

③これまで、特定健診等の受診と介護予防は別物のような取組みだったが、一体的な取組みをすべきではないか。

【町長】①特定健診は県平均を超えている。保健指導は県内では上位の受診率ではあるが、いずれも目標値には到達していないのが現状。粘り強く取り組んでいきたい。

②口の健康のために歯科検診による口腔管理が重要と考えており、受診率向上に向けた周知、啓発、制度の拡充を検討したい。

③これまででは保健事業と介護予防はそれぞれに事業をしていたが、これからは町の組織でも関係課が幅広く連携して事業展開を図りたい。

長引く物価高騰・収入減へ 町独自の生活・産業支援を

町長

町の実情に応じた支援を検討

【問】長引くコロナ禍やウクライナ戦争の影響で、日々の生活や農家、事業所等の経営がさらに厳しくなってきた。

①暖房や燃料費、資材費等への県からの支援に、町独自の乗せ支援はできないか。

②国保料、後期高齢者保険料、介護保険料等は、基金や積立金等の活用で町独自の減免はできないか。

③子どもは国の宝。子どもの医療費、学校給食費、国保の均等割の無料化、水道代の軽減、無償化はできないか。



値上がりが続く農業資材

【町長】①現在は長引くコロナ禍の中の物価高騰、収入減等に対する支援を実施している。今後も、状況を見定めながら必要に応じて措置を講じていきたい。

②基金はあくまで不測の事態に備えるためのもの。仮に一般財源を繰入れても、一時的な効果に對するデメリットのほうが大きいと思われるので町独自の軽減策は考えていない。

③子どもの医療費への助成は継続。給食費の一時支援金は年度内は実施している。新たに水道料金の助成を考えている。

安定的な上下水道事業を

町長

経営戦略を改定しながら対応

【問】①上下水道は重要なインフラであるが、人口減少や節水意識の向上などで事業収入が減少する。施設の老朽化や管の更新などで厳しい経営状況にある。今後の料金改定と「経営戦略の策定」の進捗状況を問う。

②基盤強化として広域連携があるが、どのように考えるか問う。

③上下水道と簡易水道事業の統合の進め方。また、地域で管理運営する事業に対して、町の責務を問う。

【町長】①将来の更新事業費用を確保するため、昨年4月に料金改定を行った。令和5年度に改定はしない。下水道事業、水道事業もそれぞれ10年間の計画を策定している。将来安定的に事業が図られるよう経営戦略を改訂していく。

②県は水道事業の広域化に向けて検討し、具体的には令和5年度以降となる。

③町では簡易水道の地区や専用水道の地区などあり、老朽化が進んでいる。各地区代表と話し、指導、助言を行う。



人口減少の影響が大きい地元管理の水道事業（白石地区簡易水道施設）

インボイス制度への対応は

町長 今後の経過に注視しながら対応



増井 久美

【問】 令和5年10月1日から、*インボイス制度が実施される。その影響について問う。
 ① 当町において影響を受ける売上1000万円以下の免税業者はどの程度あるのか。
 ② シルバー人材センターの事業の多くは、個人事業者として取り扱われる。シルバー人材センターへの影響をどう考えているか。
 ③ 町が発注する業務に影響はないのか。

【町長】 ① 町は、町内の業者が消費税の課税業者か免税事業者か把握していないが、把握できる営業収入1000万円以下の免税個人事業主は、令和3年に540件ある。② 制度が導入されると、免税事業者であるシルバー人材センターの会員はインボイスを発行できない。このため、センターは、発注者から預かった消費税を納入する必要があるが、税負担の財源がないため、今後の経過に注視していく。③ 会計ごとに、適切なインボイス対応を進めることが必要と考えている。



影響を受けるシルバー人材センター

【問】 旧統一教会（世界平和統一家庭連合）の被害者救済法等が成立した。この法案について全国霊感商法対策弁護士連合会は「被害実態からみて不足」と参考人質疑で陳述している。今後きちんと実行され、被害者が救済されるよう望む。
 ① 当町はこの団体やこの団体の関連団体に対して補助金を出したり、会場を貸したり、イベントに参加したことはないか。
 ② 救済法案を実効性あるものにするためにも、町に相談窓口を設置してはどうか。

町長

国の相談窓口につなぐ

旧統一教会に対する相談窓口設置を

【町長】 ① 町が旧統一教会や関係団体への後援、補助金交付、イベントへの参加は確認していないが、アロハホールの利用は、過去3年間で令和元年度に3件あった。② 国の電話相談窓口には、多くの相談が寄せられている。また、県消費生活センターにも被害相談があったが、本町住民からの相談はなかった。国では、霊感商法等対応ダイヤルを設置し、相談体制を整備している。町は、町単独の相談窓口を設置せず、県同様、国相談窓口につなぐことで対応したい。



霊感商法対応ダイヤル（法務省ホームページより）

使用済みおむつのこども園での廃棄を

町長 5年度からの廃棄処理を検討



光井 哲治

【問】 ① こども園の現行の使用済みおむつの取り扱いはどうなっているのか。
 ② 現在の取り扱いについての根拠・理由は。
 ③ 厚労省のガイドライン・通達は以前からあったのか。
 ④ 様々な問題があり改善が必要ではないか。この問題は、園での廃棄を求める要望が各地で起こりクローズアップしてきた。調べたかぎり厚労省のガイドライン・通達はないように思う。保護者、職員の負担軽減、不衛生の実態を早急に改善すべきと思うが本町の考え方は。



使用済みおむつ保管場所（はわいこども園）

【町長】 ① 町内こども園のうち、町立7園が保護者持ち帰り、園処分は民間2園のみ。② 保護者持ち帰り、園処分とも根拠は全くない。保管場所や衛生面の問題、昔からの習慣や体調把握が主な理由である。③ 国の今のガイドラインは感染症対策用で、おむつ処理についての記載はない。④ 町としては、持ち帰りの際の衛生面の問題、園処分時の現場負担軽減を考慮した一般廃棄物処理を5年度から検討中。

死亡届提出後の手続きを「ワンストップ」で

町長

現状では難しい

【問】 混雑している現在の町民課窓口で「ワンストップ」で手続きを完了するのは難しいのではないか。
 死亡届後の手続きは多岐にわたり、一日で終わらないケースもある。後期高齢者世帯が増加しており、高齢者が一人で手続きすることになる。また障がいがある方は各課への移動さえ負担である。
 現在の町民課窓口の混雑からみて、一連の手続きを落ち着いて行える環境とは言い難い。
 早急な改善が必要と思うが本町の考え方は。



手狭な町民課窓口

【町長】 今現在、平日の届出は町民課と各支所窓口で受け付け、時間外や休日は本町警備員が受付で「火葬許可書」と「諸手続き案内（簡易版）」を渡している。その後、再度、来庁時に町民課ほか各課で対応し、移動に支障のある方には、担当課職員が町民課窓口で対応している。支所では、基本的に支所窓口で完結する予定。静かな専用窓口開設は、設備や空間の問題もあり、難しい。接遇に気をつけながら行っている。

教育民生常任委員会

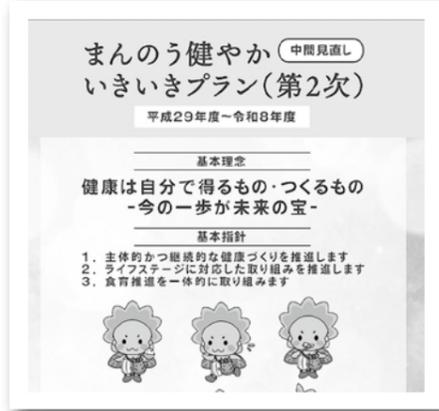
視察報告

～香川県まんのう町における特定健診について～

11/1 香川県まんのう町役場

まんのう町では、以前から特定健診受診率は高く、令和3年度は52.3%で県一となっている。一方、本町の受診率は徐々に向上しているが、令和3年度の受診率は35.2%で、令和5年度目標60%を大幅に下回っている。

そこで、受診率の向上に向け、まんのう町における特定健診の調査を行った。



まんのう町健康プラン

<まとめ>

まんのう町の受診率については、昭和30年代の結核患者を減らすために、健診に対する意識が高まり根付いていったこと、そして、健診の無料化が相まって50%以上と高くなっていると思われるとのことであった。

本町においても、受診率向上に向けて努力をされているが、住民の健診に対する意識の向上に結びついていない傾向があり、更なる努力と新しい工夫が必要と思われる。

ようこそ議会へ

～羽合小学校2年生の皆さんが議場を見学～

10月20日、羽合小学校2年生の児童30人が生活科の授業の一環として、役場の庁舎内と議場を見学しました。

濱中議長から議会の仕組みなどの説明を受けたあとは、実際に議長席や議員席などに座り臨場感を体験しました。



濱中議長から説明を受ける児童たち

～新しい委員長・副委員長が決定～

去る12月5日、入江誠議員より辞職願が提出され、同日付けで議長が許可しました。

これに伴い、総務産業常任委員会の委員会構成が変更になりました。新しい委員長に小川遊議員、副委員長に磯江公博議員が互選されました。



新委員長
小川 遊

重責でございますが頑張ります。若輩ですので皆さまの御指導を仰ぎたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



新副委員長
磯江 公博

10月臨時会

10月臨時会は、10月28日に1日の会期で開催されました。補正予算1議案が提案され、原案のとおり可決しました。

補正予算

肥料の価格高騰に補助

・肥料価格高騰対策事業 417万円
肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に取り組む農業者の肥料費を支援。生産意欲の低下を防ぎ、町内農業の維持を図るもの。

令和4年の秋肥と令和5年の春肥が対象で、前年度から増加した肥料費について国が7割、県と町がそれぞれ1割を支援する。財源は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金。

11月臨時会

11月臨時会は、11月28日に1日の会期で開催されました。補正予算6議案、条例改正2議案の計8議案が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算

「たじりこども園」新設移転へ

・たじりこども園施設整備事業 3829万円

旧北浜中学校跡地へ新設移転する方針として、令和2年度に基本設計を作成。今年度内に実施設計のための事業費を計上。全体スケジュールは次のとおり。



移転が急がれるたじりこども園

| 令和4年 | | 令和5年 | | | 令和6年 | 令和7年 | |
|------|------|-------|------|------|------|------|----|
| 12月 | 1～7月 | 8～11月 | 12月 | ～ | 1月 | 1～3月 | 4月 |
| 発注準備 | 地質調査 | 実施設計 | 予算措置 | 建設工事 | | 開園準備 | 開園 |

たじりこども園の新設移転スケジュール

学校給食費一時支援金を増額

・新型コロナウイルス感染症対策事業(学校給食センター) 29万円

☆学校給食食材の価格のさらなる上昇に対し、支援金を追加交付し学校給食の質の維持と保護者等の負担軽減を図る。本年度、湯梨浜町では食

報告

旧東郷中民間提案

町から旧東郷中エリアの跡地利用に係る民間提案の応募結果について説明を受けた。2社からの提案があり、そのうち酒類製造・酒小売業を行う事業者と協議を進めていくという内容。すでに福羅酒造株式会社、福羅酒造との連携により、にぎわい創出が期待できると判断した。

町民インタビュー



「何時も、挑戦者であれ」

合同会社 ローディーネット

代表 津村 佳英 さん（はわい長瀬）

湯梨浜に来て18年、今年で人生半世紀を迎えます。30代最後の年に起業して、5年続けば良いほうか・・・と書いていたが、気付いたらあっという間に10年が経ちました。

ITを基軸に、システム開発やWEB制作を主体に事業をしています。今では一言で説明できないくらい分野も広がり、わが子でも通じるくらいの歳のスタッフたちに囲まれ、その成長を見届けながら自身も成長を実感し、充実感に溢れた日々を過ごしています。

立ち上げた頃は、とにかく仕事をこなすことに必死で、会社の理念や社会的役割の大切さなんて全く理解していませんでしたが、この10年で色々な事を学ぶ事ができ、地域との関わりも増え、規模は小さいながらもそれなりの体制になってきて、事業の本当の価値はここにあるのだろうと実感しています。

前例踏襲、事なかれ・・・が苦手というか嫌いなので、現状に甘んじず、新たなテーマを進めています。

今はまだ漠然としていますが、もう少し俯瞰して、わが子やスタッフだけではなく、これから担う地域の子どもたちにも価値ある何かを残していきたい・・・と考えていると、まだまだやるべき事が沢山あるなあ・・・と、楽しみで仕方ないです。

微力ではありますがこれからもパイオニア精神を忘れず挑戦し続けていきますので何かの際には応援よろしくお祈りします！



議会を傍聴してみませんか

議員が、議場でどんな発言をしているのか。どのような町づくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災行政無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

3月4日(金)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症も3年目に入りなかなか終息も見えないなか、第7波と第8波の大流行に加え、物価高や原油の高騰など大変な年でした。

そんななか、昨年12月に開催されたサッカーのワールドカップカタール大会で日本代表が強豪のドイツやスペインを撃破してベスト16入りし、日本中を熱狂の渦に巻きこんだことは記憶に新しいところです。

そんなサッカー日本代表のように、みんなで力を合わせて新型コロナウイルスを撃破したいものです。

最後に、今後の皆さまの健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(記 河田)

【編集】

議会広報常任委員会